

空と緑 新、呼吸する

福島
報

たまかわ

'96
1
No. 853

空港新時代の夜明け!

滑走路2500メートル延長工事が昨年着工された福島空港。今年、工事はさらに大きく前進します

(福島空港モニュメント「向福島」からのぞむ日の出)

'96 A HAPPY

村民の皆様と共に すばらしい郷土 づくりに努めます。



玉川村議会議長
塩田 征二郎

新しい年にご家族お揃いで、希望に満ちた新春を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。

昨年中は村民の皆様のご支援ご協力をいただき、議会活動に精励できましたこと厚く御礼申し上げます。

早いもので平成の代も8年目を迎え、国の内外ともに大きな時代の変革を感じるものであります。地方自治においても、従来の形式主義や前例の踏襲にこだわることなく、勇気ある変革が求められている時代でもあり、私たちは二十一世紀を見通

しながら、大きな飛躍を目指して村の諸施策の推進に取り組んで行かなければなりません。

今、村は福島空港の開港により、日に日に変貌を遂げており、そうした本村を取り巻く社会経済情勢の変化に対応すべく、第四次玉川村振興計画を策定し、あぶくま新高原都市構想、高規格道路などへの対応、体に障害を持つておられる方や母子家庭、児童、高齢者などに対する福祉施策の充実、上下水道の整備、都市計画区域の指定、更には福島空港を活用した産業の振興と地域開発、高速交通体系に

よる地域整備など、新・玉川村の創造に向けての各種施策を計画しております。

議会といたしましても、これから当面する課題に対処するため、多岐にわたり尚一層の調査研究を重ね、村民の皆様と共にすばらしい郷土づくりに努めて参る所存でありますので、本年も変わらぬご支援、御指導をお願い申し上げます。

- 村役場
 - 村長 車田 次夫
 - 助役 小針 康敬
 - 収入役 佐久間 倉太
 - 教育長 小林 豊司
 - 外 職員 一同
- 村議会
 - 議長 塩田 征二郎
 - 副議長 高林 浅男
 - 外 議員 一同
- 区長会
 - 会長 小針 成男
 - 副会長 真野目 喜正
 - 外 区長 一同

NEW YEAR



玉川村長
車田 次夫

「希望に満ちた 未来の夢」 実現に向けて。

輝かしい新春を迎え、村民の皆様のご健勝を心からお慶び申し上げますと共に、ご多幸とご繁栄をお祈り申し上げます。

昨年は、阪神・淡路大震災として世の中を不安に陥れた地下鉄サリン事件などの暗いニュースもありましたが、開催地福島県が見事総合優勝を果たした、第50回国民体育大会「ふくしま国体」では、本村で炬火「空港の火」の採火・リレー出発式が行われ、その福島空港からの搭乗者は百万人を突破しました。

たことに對し、心から厚く御礼申し上げます。

今年はず年で、生んで増やして育てる、などと、縁起の良い年とされておりますが、決意も新たに職責の重大さに身を引き締めながら「希望に満ちた未来の夢」実現のため、また、村民一人一人が豊かさを実感できる村づくりを、更に進めるべく村政に取り組んで参りたいと思っております。

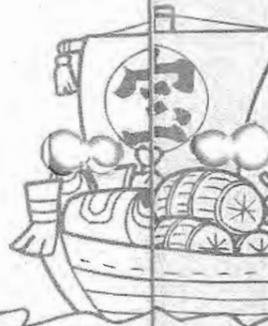
さて、国内外の経済情勢は、円相場の高騰などによる経済構造の空洞化など著しく変貌しており、また、社会情勢においても、国際化、高度情報化、更に高齢化や価値観の多様化などの大きな変革の時代を背景に、行政の需要は増大し、質的にも大きく変化しており、本村にあっては、福島空港の滑走路を二五〇メートルに延長する工事が、平成12年度の供用を目指して着工されております。そうした情勢の変化に対応すべく、平成8年度から17年度までの10年間を見とおした、第四次玉川村振興計画を策定し、本県はもとより北関東地域の玄関口としての空港周辺整備事業、人間創造都市の形成を基本理念とするあぶくま新高原都市構想、東京一極集中の是正と、多極分散型国土形成に対応した首都機能移転の受け皿づくり、また、産・学・住が有機的に結合した、新しいふるさとづくりを目指す

郡山地域テクノポリス構想やテクノパーク整備構想、更にトライアングルハイウエーなど、将来を期す大型プロジェクトの実現に向けて、積極的に取り組んで参りたいと思っております。

今こそ、全村民の創意工夫と団結により、新世紀に向けて「心豊かな活力と魅力ある村づくり」をテーマに、快適な居住環境の整備、活力ある産業の振興、福祉の充実と健康づくり、人間性豊かな教育・文化・スポーツの振興を図り、みんなが「住んで良かった」と思う村づくりを前進すべく決意も新たにするところであります。

当面の本村の課題は、昨年に引き続き、空港関連周辺整備、付加価値農業の確立、商工業の育成、福祉の充実と健康対策、住宅団地の造成、企業誘致、総合運動公園整備、水資源確保対策としての千五沢ダム共同化や、今出川ダムの建設促進、更に国際化に対応できる人材の育成などがあります。

これらの目的達成に向けて最善の努力を尽くして参る所存でありますので、本年も村民の皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますことをお願い申し上げます。年頭のごあいさついたします。



新年明けまして おめでとうございます

南三陸・岩手路の旅

第1日目【12月9日(土)】

午前8時40分、泉郷駅に参加者が続々と集合。木枯らしが吹くなか、9時5分出発式。前田磐城石川駅長、車田村長のあいさつ後、村長や駅長、塩田村議会議員、小針区長会長がテープカットし、参加者を代表して佐藤スミ子さん（蒜生）矢部ミツイさん（吉）小林敬子さん（竜崎）の3人が村長らに花束を贈呈。式の終了と同時に、月、風、華の3両編成（定員100名）のお座敷列車「漫遊号」が泉郷駅ホームに入る。車内には既に川辺地区の参加者13人が川辺沖駅から乗っています。9時22分、100人の笑顔に乗せた「玉川村民号」出発！10時頃から村長が各車両を回ってごあいさつ。講話は短時間で終了。高林副議長（月）溝井小高区長（風）小林竜崎区長（華）の音頭で乾杯。福島を過ぎた辺りから、飲んで歌って車内はすっかりリラックス。午後3時、いつのまにか南三陸・志津川駅に到着し、今宵の宿「ホテル観洋」へ。ホテルは大きくて複雑に入り組み、部屋を覚えるのにひと苦労する場面もありましたが、各自思い思いに時を過ごし、午後6時から小針村助役の開会のことばで懇親会が始まる。参加者最年長の高橋修さん（82歳、山小屋）と添田ナカさん（75歳、小高）さらに12月9日と10日生まれの方々に記念品が贈られ、小針区長会長が大杯を抱いて乾杯！宴は、カラオケそしてご婦人方有志による舞踊など次から次と繰り出され、参加者らは酒を酌み交わしながら大いに旅の夜の一時を楽しみました。

第2日目【12月10日(日)】

今日も天気は上々。朝風呂を浴び、海の幸が一杯並んだ朝食をすませ、午前8時宿舎を後に。JRの大型観光バス3台を連れ海景を眺めながら北上。9時10分、日本有数の漁港、気仙沼港の『お魚いちば』着。しばし新鮮な海産物の買物を楽しみ、北上山地を越えて岩手県・東山町へ。11時過ぎ狛鼻溪・乗船場着。3艘のこたつ舟で、砂鉄川が造った岩壁の切り立つ幽しい境の世界を堪能。午後1時バスは平泉・中尊寺に。金色堂を見学したり各自のんびりと境内を散策した後、バスはJR一ノ関駅へ。ここで約半日間に共にしたバスとお別れし、再びお座敷列車「漫遊号」に乗車、一路ふるさと目指して「玉川村民号」が2時30分発車！残された時間を惜しむかのように、車内の雰囲気は一気に盛り上がっています。郡山駅を過ぎ間もなく旅も終わりに近付く。村助役、収入役、そして村長にかわって教育長が、それぞれの車両で今回の「村民号」を締めくくるあいさつ。全員で『星影のワルツ』を大合唱！歓喜のなか午後7時45分泉郷駅、そして5分後、川辺沖駅に到着。

ふれあいと思い出をたくさんつくって無事終了した「玉川村民号」。各区長さんはじめ参加された村民の皆様、そして磐城石川駅の皆様ありがとうございました。



泉郷駅で行われた出発式でのテープカット



「楽しく有意義な旅にしてください」と各車両をまわってあいさつする車田村長（華号車内にて）



歓楽港のある村玉川村民号 第一行進 迎

スポーツ民謡愛好会の方々が踊りを繰り広げ、宴会を盛り上げました（ホテル観洋にて）



暖かいこたつ舟でゆっくりとお弁当と溪谷美を味わう参加者（狛鼻溪にて）

歓喜に包まれ、思い出いっぱい運んだ村民号

村民ふれあい列車「玉川村民号」

村民ふれあい列車「玉川村民号」が、12月9日(土)と10日(日)の2日間、総勢100人が参加して行われました。JR泉郷駅での出発式では、車田村長らのあいさつに続いてテープカットや、参加者代表3人による花束贈呈が行われ、午前9時22分定員100人を乗せたお座敷列車「漫遊号」が泉郷駅を出発。豊敷きの列車内や宿舎のホテル観洋では、酒を酌み交わしながら、カラオケや踊りなどで大いに盛り上がり、参加者らは楽しく「村民号」のふれあいを深め、また、狛鼻溪での舟下りや平泉・中尊寺参拝など冬の岩手路とお座敷列車を存分に満喫した旅となりました。この「玉川村民号」は、村民のふれあいとJR水郡線の利用促進を目的に、村が主催し、区長会が後援して今回初めて実施されました。



星影の世界を思わせる狛鼻溪



お座敷列車「漫遊号」です



「少し舞台が狭いようですね？」車内は歌や踊りで大いに盛り上がりました

- ### 申告に必要なもの
- ① 印鑑
 - ② 営業などがある方は、出納帳簿や関係書類
 - ③ 源泉徴収票（給与、恩給、年金、貸金などのある方は、必ず持参してください）
 - ④ 平成7年中に支払った損害保険料、生命保険料や個人年金保険料の支払証明書
 - ⑤ 医療費のある方は、平成7年中に医療機関へ支払った医療費の領収書
 - ⑥ 農業近代化資金などの制度資金の借入れがある方は、利子支払証明書
 - ⑦ その他申告に必要と思われる書類

- ### 住宅取得特別控除の申告に必要なもの
- ① 住宅用家屋の登記簿謄本
 - ② 建築工事の請負契約書
 - ③ 住民票の写し
 - ④ 金融機関などから交付を受けた、住宅取得資金にかかる借入金の前年末残高証明書
 - ⑤ 住宅取得特別控除額の計算の基礎となる住宅借入金等の年末残高額の計算明細書

- ### 譲渡所得特別控除の申告に必要なもの
- 個人や公的機関に、土地や建物を売った場合には譲渡所得がかかります。その特別控除を受ける場合には、売買契約書（個人）や公的機関が発行する証明書が必要です。
- ### 振替納税のご利用を
- 所得税の納付と還付請求は、金融機関などの預金口座から振替できますので、利用されますようお勧めします。

税

2月8日～3月15日
所得申告
が始まります

住民税（村県民税）や所得税の申告時期になりました。村では「税の申告相談」を2月8日から下記の日程により行います。相談日に都合の悪い方は、都合のよい日に相談ください。

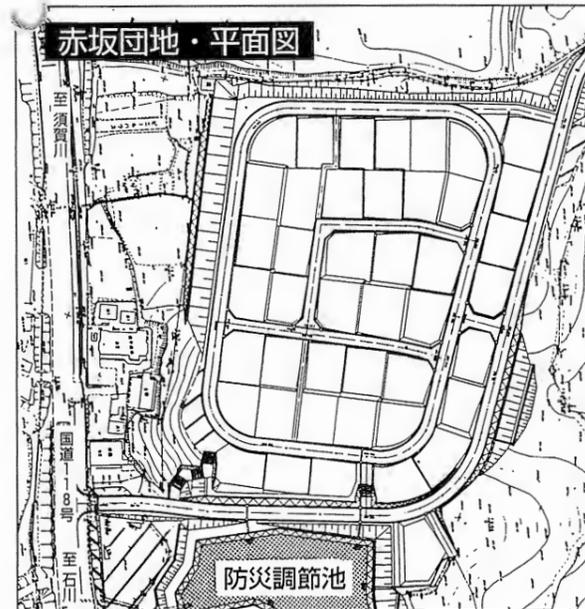


川辺分譲宅地 赤坂団地



赤坂団地の名称で4月受付開始予定

川辺の武道地内で進められていた分譲宅地の造成工事が1月中に完了します。この分譲住宅地は、44区画すべてに上下水道が完備されており、国道118号沿いで交通の便も良く、日当たり良好な高台に位置しています。完成後は、赤坂団地の名称で福島県住宅供給公社が販売することになり、分譲申込みの受け付けは4月の予定となっています。分譲についてのお問い合わせは、役場企画調整課まで。



申告相談の日程

受付	午前9時～11時30分 午後1時～3時	場所	西部地区：就業改善センター 東部地区：須釜公民館
----	------------------------	----	-----------------------------

2月	区分	地区名	午前	午後	3月	区分	地区名	午前	午後
8日(木)	住民税	川辺	宮ノ前組～3組	4組～6組	1日(金)	所得税	営業、農業、庶業	確定申告者	(東部地区)
9日(金)	〃	川辺	7組～10組	11組～残全域	4日(月)	〃	〃	〃	〃
13日(火)	〃	小高	1組～3組	4組～7組	5日(火)	〃	〃	〃	〃
14日(水)	〃	小高	8組～10組	11組～残全域	6日(水)	住民税	北須釜 東部	奥撫、仁戸内	東部残全域
15日(木)	〃	中	1組～5組	6組～残全域	7日(木)	〃	北須釜 西部	雀森、桜窪	西部残全域
16日(金)	〃	蒜生、竜崎	蒜生全域	1組～4組	8日(金)	〃	南須釜 蟹沢～八又	蟹沢、荻ノ田堂ノ内、八又	奥平上、奥平下
19日(月)	〃	竜崎	5組～7組	8組～残全域	11日(月)	〃	南須釜 残全域	南宿	残全域
20日(火)	〃	岩法寺	1組～4組	5組～残全域	12日(火)	〃	吉 全域	上の1、2、3組	吉 残全域
21日(水)	所得税	営業、農業、庶業	確定申告者	(西部地区)	13日(水)	〃	山小屋、山新田 青井沢、小半弓	山小屋	山新田、青井沢 小半弓
22日(木)	〃	〃	〃	〃	14日(木)	住民税	四辻新田 東部地区 残	四辻新田	東部全地域
23日(金)	〃	〃	〃	〃	15日(木)	住民税	西部地区 残	川辺、蒜生 小高	中、岩法寺 竜崎
26日(月)	〃	〃	〃	〃					
27日(火)	〃	〃	〃	〃					
28日(水)	〃	〃	〃	〃					
29日(木)	〃	〃	〃	(東部地区)					

造成工事の完成間近!!

社会 福祉

地域福祉の向上に尽くします !! 民生・児童委員に委嘱状を伝達

12月11日、玉川村ふれあいセンターで民生児童委員の委嘱状伝達式が行われ、委員16人（新任2人再任14人）に厚生大臣と福島県知事からの委嘱状が車田村長より伝達されました。

委員の任期は、平成7年12月1日から平成10年11月30日までの3年間で、地域の福祉向上のため活躍されます。

氏名	地区	TEL
矢部和子	川	21008
矢部義一	川	35552
真弓政典	小	35531
角田克彦	高	45440
車田千枝子	中	45001
高林浅二	中	22009
須釜保明	岩	22827
湯澤英雄	竜	27004
小原明昭	南	32006
大野シズイ	南	21403
鈴木米蔵	北	30300
草野今朝夫	北	28503
西館英範	北	33300
近内道夫	吉	26306
石森仲夫	山	27707
塩田好一	四	38117

今回委嘱された方々は次のとおりです。お気軽にご相談ください。（敬称略）

主任児童委員

【任期・平成6年1月1日から平成8年12月31日】
小原重孝 南須釜

長い間の貢献に 厚生大臣感謝状！

同日、村の民生児童委員を12年間務めて今回退任された、溝井保三さん（小高）と矢吹源一さん（吉）への、厚生大臣感謝状と県知事挨拶状の贈呈伝達式が行われ、車田村長から手渡されました。



チャンピオンカップを手にする繁さん。右は奥さんのすみ子さん

第2回福島石川牛枝肉共進会 12/1~12/4

仙台市の仙台中央卸売市場食肉市場で開かれた第2回福島石川牛・枝肉共進会で、吉地区の鈴木繁さん（65歳）が出品した「利姫8号」（黒毛和種・去勢）は、枝肉のキロ当たり単価が平均額を大幅に上回る2,783円となり、見事チャンピオン賞を獲得しました。

「去年は優秀賞でした。飼料の配合に気を遣った」と語る鈴木さんは、牛を飼って30年。現在20頭を飼っているそうです。

この共進会は、石川牛の品質を向上させようと、石川郡畜産農協が主催し、昨年からは開かれています。

鈴木さん手塩の牛が、チャンピオン賞!!

大和田友香ちゃん、八代くんら優勝!!

玉川村民卓球大会

玉川卓球クラブ（塩沢正勝会長）主催による第12回玉川村民卓球大会が、村勤労者体育センターで行われ、小学生から一般までの75人の選手が出場しました。おもな成績は次のとおりです。（敬称略）

- ◎小学生シングルス 優勝 大和田友香 2位 我妻久美 3位 大和田友紀 増子恵美
- ◎一般シングルス 優勝 八代雄嗣 2位 五十嵐毅 3位 我妻由香利 塩沢正勝
- ◎一般ダブルス 優勝 五十嵐毅/金子知典 2位 八代雄嗣/遠野卓也 3位 榊枝由紀子/鈴木弥生 鈴木富士江/鈴木聡美



トピックス IN たまかわ

—みなさんからの話題をおまちしています—
役場企画調整課
広報係まで

につぼんのかあちゃん 笑いと涙の人生語る!!

地域振興事業で武田イクさん講演



『母に捧げるバラード』や、『金八先生、でおなじみの俳優・武田鉄矢の母、武田イクさん（77歳）の講演会が、中のマーヴェラス末広で開かれ、500人を超す村民の方が詰めかけました。

武田さんは『笑いと涙の子育て奮闘記』と題して「鉄矢は兄弟で一番優しく出来が良い。要らない子ほど役に立つ。一家の大黒柱はお母さんです」などと子育てに取り組んだ信条などをユーモアたっぷりに話していました。この地域活性化講演会は、玉川村翼の会（大木吉永理事長）が主催し、地域振興事業の一環として行われました。



熱く語りかける武田イクさん

銘菓「さかさ杉」が金賞に!!

95東北むらおこし物産展 in 山形

先ごろ山形県山形市の山形国際交流プラザ「ビッグウイング」で開かれた、「95東北むらおこし物産展」の特産品コンクールで、小高の車田長市郎さん（46歳、いわきや店主）が考案、製菓した「たまかわ銘菓、『さかさ杉』が見事金賞を受賞しました。

この物産展は、東北六県商工会連合会が主催し、市町村商工会のむらおこし事業の成果品などを一堂に集めたものです。



金賞を受賞した車田さんと銘菓さかさ杉(右)

「啓発塾」から油絵、寄贈

須釜地区を中心に地元青年らで構成する地域づくりグループ「啓発塾」から、額縁に入った油絵の寄贈がありました。

この絵は、南須釜の小山田明美さんが約2ヶ月間かけて製作。「啓発塾」が平成7年5月に、大寺城跡に武者幟を立ててライトアップ事業を行った際、青空の下春風にそよぐ幟を描いたもので「夫（弘さん・29歳）も塾のメンバーなんです。」と語る明美さん。額縁を作った松田勇さん（30歳、南須釜）もメンバーです。



松田 勇さん



ベストナインに選ばれた皆さん

選手名	チーム
監督 湯沢真次	泉郷クラブ
水野信哉	〃
須田勉	〃
鈴木政義	須釜クラブ
矢吹耕治	ラッキーロボス
増子貞美	ドジャース
須田潤一	玉川村役場
車田茂夫	〃
吉田正	泉郷クラブ
石森幸二	ドジャース
須釜クラブ	〃

平成7年度玉川村野球協会（須田福広会長）の納会が、中のマーヴェラス末広で行われ、次の10人の方々がベストナインに選ばれました。（敬称略）

ベストナイン を表彰

1月2月の健康ごよみ

■1月

- 12日(金) 乳幼児健康相談 19時30分～10時
- 乳児健診 午後1時～1時30分
- 17日(水) 母親教室 午前9時15分～9時30分
- 3種混合予防接種 午後1時～1時15分
- 18日(木) 3種混合予防接種 午後1時～1時30分
- 19日(金) 成人病予防教室 北須釜生改センター 午前9時30分～12時
- 26日(金) 3歳児健診 午後1時～1時30分
- 31日(水) 成人病予防教室 吉集会所 午前9時30分～12時

■2月

- 7日(水) 成人病予防教室 川辺公民館 午前9時30分～12時
 - 9日(金) 乳児健診 午後1時～1時30分
 - 14日(水) 3種混合予防接種 午後1時～1時15分
 - 15日(木) 成人病予防教室 藤生農構センター 午前9時30分～12時
 - 3種混合予防接種 午後1時～1時30分
- ※保健センター 須釜公民館 受付時間

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

記

- 山小屋の石森辰三さんから 2万円
 - 泉婦人会から、文化祭バザー益金として 1万円
 - 竜崎の小林森男さんから、福祉機器購入資金として 2万円
- (村社会福祉協議会)

お誕生おめでとうございます

(12月15日まで届出分)

地区 出生児氏名 保護者名
山小屋 石森朱莉 弘徳

おくやみ申し上げます

(12月15日まで届出分)

地区 死亡者氏名 年齢 世帯主名
南須釜 石森四郎 81 マス子

伝言板

福島空港感謝祭

平成8年 1月26日～30日

飛行機の部品、用品の中古品を中心としたがらくた市です。めずらしい商品を破格値でチャリティーいたします。なお、がらくた市の収益金は福祉関係へ寄付されます。

坂本勇先生はいわき市出身です。現在も創作活動を続けており作品には「うつくしまふくしま」をテーマにした版画が数多く発表されました。今回は代表作と新作が展示されます。

会津本郷町の16窯元が共同で開催する作品展です。本郷焼きを代表する作品の数々をご鑑賞いただける皆様にご満足をおたえらることを確信いたします。

冬の風物詩……本郷町の「せともの市」空港で再現いたします。掘り出し物があなたの心を楽ませてくれます。

第1弾 会津本郷焼 窯 作品展とせともの市

飛行機部品用品 がらくた市

第2弾 福島が大好きな 版画家坂本勇作品展

平成8年 2月2日～6日

会場：福島空港ターミナルビル内3階フロア&会議室

広報たまかわでは、★あなたの思い出の場所★好きな風景★自慢したい風景、そんな“心の風景”写真を募集します!!

場所は問いません。日本国内ならどこでも結構です。簡単なエピソードや場所などを、250字程度にまとめて企画調整課へ広報係まで!!

今月の納税

村 国民健康保険税 4期分
国民年金 7期分
国民年金 1月分

【納期限は1月25日(木)です。忘れずに納めましょう】

村のようす

(7年12月1日現在)

- 1,769戸(+5)
- 7,722人(+11)
- 3,808人(-1)
- 3,914人(+12)

玉川村短歌会佳作抄

村公民館

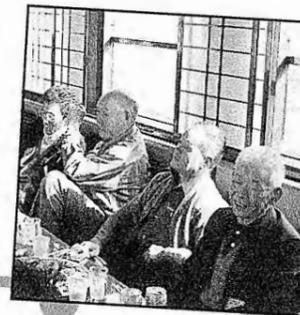
軽患の手術にあれど試練とし恐るるもなくその日を待てり
小針 登里

紅葉の散り初めており磐梯のくきやかなれば冬間近なり
真弓 はん

生涯に再びは来ない今日というサルビア赤く燃え立ちており
小針みね子

刈上げ祭新米の餅を大臼に供えし母はあかぎれの手に
溝井はなよ

すこやかに老いたき願ひ煙より今朝も獲り来る白菜一つ
曲山きくみ



12月9日・10日「玉川村民号」にて

募集

第42回「わが家の家計簿・生活設計」体験談の募集

あなたのつけている家計簿や生活設計について書いてみませんか

- ◆原稿は…本文 2,000字(B4判400字詰原稿用紙5枚)以内、縦書き、右上綴(ワープロ打ちの場合は、B4判の用紙に2,000字以内)。タイトルも入れる。
- ◆添付するもの 家計簿体験談には支出内訳表、生活設計体験談には生活設計表(期間は自由)。
- ◆記事事項 応募者の氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号(自宅および昼間の連絡先)、職業、年齢、同一家計で暮らす家族の名前、応募者との続柄、年齢、職業、学校・学年、中央表彰を受けたことのある場合はその受賞歴(〇〇年××賞等と記入)。
- ◆封筒 表面に「家計簿・生活設計体験談」と明記。
- ◆その他 ※作品は未発表のものに限ります。※応募原稿はお返ししません。※入選作品の著作権は主催者に帰属します。
- ◆応募期間は…平成7年12月1日から平成8年2月末日まで
- ◆中央表彰は…特賞 5編 賞金 各10万円
優秀賞 10編程度 賞金 各5万円
奨励賞 85編程度 賞金 各2万円
- ◆地方表彰は…入選 5編程度 賞金 各1万円
応募者全員に平成9年用「明るい生活の家計簿」をさしあげます。
- ◆入選発表は…平成8年6月ごろに新聞、テレビ、ラジオ等で発表します。
- ◆参考 中央表彰の特賞作品を収録した「即小作品集」は、毎年6月ごろに発行。ご希望の方は無料でお送りしています。申込先 貯蓄広報中央委員会あるいは最寄りの都道府県貯蓄推進委員会、日本銀行支店・事務所まで。
- ◆送り先は…福島県貯蓄推進委員会 〒960 福島市杉妻町2-16 福島県生活環境部県民生活課内 ☎0245-21-7178
日本銀行福島支店 〒960 福島市本町6-24 ☎0245-21-6363

★頑張るあなたを平成8年度 応援します!

福島県学生寮の入寮者募集

- ◆所在地 男子寮：千葉県松戸市 女子寮：東京都渋谷区幡ヶ谷
 - ◆募集人員 男子寮：45名程度 女子寮：8名程度
 - ◆必要経費
- | | 男子寮 | 女子寮 |
|--------------|----------|----------|
| 入寮寄付金(入寮時のみ) | 30,000円 | 30,000円 |
| 寮費等(食費込み月額) | 43,800円位 | 41,300円位 |
- ◆応募資格 福島県内出身で、平成8年4月に大学(短期大含む)に入学予定の者(夜間部除く)
 - ◆申込み方法 入寮申込書等を在学(出身)高等学校長に提出
 - ◆申込受付期間 平成8年1月9日(火)～2月13日(火)
 - ◆施設の概要

男子寮(定員97名)	
所在地	〒271 千葉県松戸市松戸638の4 電話 松戸(0473)-(62)-9059 (上野駅-常磐線松戸駅東口-徒歩10分)(20分) (地下鉄千代田線松戸駅東口-徒歩10分)
建物	鉄筋コンクリート造 3階建(一部4階)
寮室	個室
設備	洋室(机、椅子、本立、ベット、押入、暖房完備) 食堂、集會室、面會室、図書室、浴室 洗面・洗濯室

女子寮(定員50名)	
所在地	〒151 東京都渋谷区幡ヶ谷3丁目72番9号 電話 東京(03)-(3378)-3844 (新宿駅-京王線有楽町線下車-徒歩15分) (新宿西口京王デパートバス停(20番)新山小学校前下車-バス20分、徒歩2分)
建物	鉄筋コンクリート造 3階建
寮室	1室2名 和室(机、椅子、本立、ロッカー、押入)
設備	食堂、集會室、面會室、図書室、浴室 洗面・洗濯室

詳しくは、福島県教育庁高等学校教育課内(財)福島県学生寮事務局 0245-21-7775 までお問い合わせください。

【税】財産をもらったとき

個人から財産をもらったときには、もらった人に贈与税がかかりますが、一定の要件に該当する場合には贈与税が軽減されます。

- 夫婦の間で同居不動産などの贈与があったとき…最高2,000万円の配偶者控除があります
- 特別障害者の生活費などにあてるために、特別障害者を受益者とする財産の信託があったとき…6,000万円までは贈与税がかかりません
- 父母又は祖父母から受託取得資金の贈与を受けたとき…300万円までは贈与税がかかりません

なお、これらの適用を受けるためには一定の手続きが必要です。詳しくは、お気軽に最寄りの税務署や税務相談室にお尋ねください。

ご存じですか? Sマーク Sマーク登録店なら安心です。

標準営業約款は、利用者や消費者の選択の便を図り、公衆衛生の向上に役立てることを目的として、現在、クリーニング業、理容業、美容業の3業種について認定されています。

この約款の登録を行っている店舗は、「Sマーク」の表示を掲げています。Sマークは、スタンダード(標準)、サニテーション(衛生)、セーフティ(安全)の頭文字を取ったもので、この3つのSを約束するマークです。

登録店舗では、定められたサービス内容を明示すること、より高度な衛生水準の向上に努めること、賠償責任保険に加入することが義務づけられており、消費者が安心して利用できる店舗を選ぶ目安となります。

まだ登録をしていない業者の方は、この機会にぜひ登録され、消費者に親しまれる店づくりを心がけましょう。

詳しくは、福島県環境衛生営業指導センター(☎0245-21-4027)へ、お問い合わせください。

人事 村職員 人事異動

【退職】
水道課長 森 清重(12月1日付)
長い間ごろうさまでした



思い出のアルバム ③

「泉組解散!」

小高の添田三郎さん(72歳)から提供されたこの写真の裏には、昭和14年3月消防組解散記念と書かれてありました。「もとは消防を組ってユツて、コン時解散してがら困ってユウようになつた」と添田さん。

ポンプ小屋の近くの大雷神社前で写っている当時の小高分団の方々は、前列右端が溝井忠一氏(82歳)で、一人間を置いて佐藤忠氏(78歳)その左側は車田初雄氏(80歳)です。同じく前列左端は故関根要治さん(竹治郎氏の父)で、その右は故須藤喜代次さん(大治氏の父)だそうです。2列目の両端にいる伍長の人は、右が故関根誠さん(忠幸氏の父)で左は故添田友蔵さん(友明氏の父)だそうです。最後列には高原敬司氏(85歳、左から2人目)や荻田富二郎氏(83歳、右から2人目)その左側には蒜生の溝井永一氏(80歳)らが写っています。分団長は小頭部長といい、故小針賢吉さん(写真2列目右から4人目。克彦氏の祖父)だったそうで、小高は第三部でした。ちなみに団長(消防)を組頭と

たまかわの皆さん
お元気ですか

—東京玉川会員だより—

『ふるさとの
乙字ヶ滝は世界一!』

神奈川県相模原市
伊豆一子さん(竜崎出身)



「孫と一緒にぶどう園にて」

明けましておめでとうございます。昨年初めて東京玉川会総会に出席して多くの人と再会し、故郷を離れて三十年以上になる私には本当に楽しい一時でした。

私は相模原に来て早くも二十七年になります。長男と長女も結婚し、主人と二人暮らしになりましたが、近くに住んでいる長男夫婦に女の子が生まれよく遊びに来ます。

田舎にいる両親は、子供が小さい頃遊びに来てくれましたが、八十歳を過ぎ無理になつたようです。毎年六、七回帰省して、母と温泉に行ったり、食事の時の両親との語らいは、まるで娘時代にタイム・スリップしたような錯覚に陥ります。そして、山が好きでよく自転車で滝山や岩法寺山に山根草を取りに行きますが、開発されて消えてゆく山や畑を見ると寂しさを感じます。発展する玉川村はすばらしいですが、古き良きものは残してほしいと思います。

私も農家を手伝える事がありますが、暑い日のいんげん摘みや選別、梅雨時の田植え、秋の取り入れなど大変な仕事だと思えます。農家の皆さん本当にご苦労さまです。体に気をつけて頑張ってください。

今年も、皆さんと会えるのを楽しみにしております。

最後に玉川村のご発展と皆様のご健康をお祈り申し上げます。